

第210号

2025年12月25日発行

発行者 日本共産党利島支部

笹岡 寿一

〒100-0301

東京都利島村850番地

電話 04992-9-0191

Fax 04992-9-0241

メール: to_sasaoka@yahoo.co.jp

あしたば

日本共産党利島支部機関紙

<知は力> 豊富な内容と真実を伝える
「しんぶん赤旗」日曜版をご購読下さい[月980円]村の政治は村の人々の為に
あります。皆さんの要望・
ご意見などお寄せ下さい！

自民 維新 がすすめる定数削減

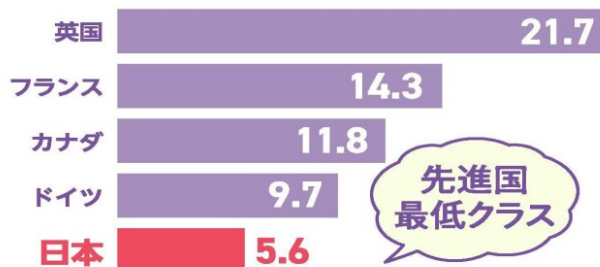
比例議席 **バッサリ!**
多様な民意を切りすて

自民党と維新の会がすすめる国会議員の定数削減。とくに、多様な民意を国会に反映する比例代表を削ったら、国民の声がますます届かない国会になってしまいます。

そもそも日本は、世界に比べて国会議員の数が少なすぎます。「身を切る」どころか「民意の切りすて」です。

日本共産党は、国会定数削減を許さず、民主主義を守り、国民の声が届く政治を実現するために全力をつくします。

人口100万人あたりの国会議員数



参院調査室作成資料「経済のプリズム」No207から

問題をすりかえ

裏金も

企業・団体献金も温存

「連立するなら企業・団体献金の規制はゆずれない」と言っていた維新の会。連立の障害を「定数削減」にすりかえ、企業・団体献金にも裏金にも指一本ふれようとしない自民党に手を貸しています。国民の審判をふみにじり、党利党略の連立で、自民党政治を延命させることは許せません。

消費税の減税 医療危機の打開

国民の声が届く
政治に! 日本共産党



ささ
おか
とし
かず
世岡寿一の

議会視聴記



2025年度・第4回定例村議会は、12月9日(火)に開会しました。会期は11日(木)迄の3日間としました。10日の午後1時半に再開して、2時前に1日半で閉会しています。行政報告と議員の一般質問、議案の内、「住民の皆さんに直接的に関係がある」と思われる事項の要旨をお知らせします。議案は、改正条例案2件、各会計の補正予算案件7件、一部事務組合案件1件です。全て原案通り、全員一致で可決成立しました。

12月議会で話し 合われた内容です



所信表明

村山将人氏の2期目の村長就任に当たっての所信表明がありました。内容は、村の広報を参照下さい。『世岡』

行政報告

国勢調査の実施

電話自動応答テストの実施
榎本総務課長「役場の代表電話について、実際の運用を想定

榎本総務課長「9月20日から10月8日まで国勢調査を実施した結果、利島村の人口の総数は、304人と前回令和2年調査より23人の減少となりました。

議会では、人口問題を論じていましたが、歴史的基幹産業の椿油産業の振興に活路を見出す構想はありませんか。『世岡』

榎本総務課長「役場の代表電話について、実際の運用を想定

榎本総務課長「役場の代表電話について、実際の運用を想定

住民健診・がん検診の実施

榎本住民課長「住民の生活習慣病の早期発見等を目的として、例年どおり住民健診・がん検診を9月19日から21日までの3日間行いました。事業者健診を含め194人が受診しました。また、11月12日・13日の2日間、結果説明会を実施し、保健師、管理栄養士による個別指導

等を行いました。今後、受診率向上に向けて周知の徹底を行っていきます。

被害義援金の募集

榎本総務課長「社会福祉協議会と協働して、10月10日から31日まで青ヶ島・八丈島への義援金募集を実施しました。12月末までは、ふるさと納税による代理寄付も行っています。11月11日に八丈町へ610万6千854円、11月18日に青ヶ島村へ477万7千063円を目録として贈呈しました。ふるさと納税(代理寄付)は、11月14日時点で、八丈町291万0525円、青ヶ島村68万8千円が集まっています。

榎本総務課長「社会福祉協議会と協働して、10月10日から31日まで青ヶ島・八丈島への義援金募集を実施しました。12月末までは、ふるさと納税による代理寄付も行っています。11月11日に八丈町へ610万6千854円、11月18日に青ヶ島村へ477万7千063円を目録として贈呈しました。ふるさと納税(代理寄付)は、11月14日時点で、八丈町291万0525円、青ヶ島村68万8千円が集まっています。

一般質問

稼ぐ行政

高田議員「稼ぐ利島を実現する上では、一時産業や観光事業者など島の産業を支える担い手が力を発揮できる環境を整えて

高田議員「稼ぐ利島を実現する上では、一時産業や観光事業者など島の産業を支える担い手が力を発揮できる環境を整えて

主役と位置付けた従事者がどう考え、どう頑張っていくか」と云う要望意見を揺らぐことなく振興策に取り組まれることを期待しています。『世岡』

水道施設

高田議員「これまで示されてきた更新計画に新たな状況の変化が生じているのか伺います。上野環境建設課長「現在老朽化により更新が必要な施設は上水場における淡水化設備です。

教育改革

木村議員「これからどのような教育環境を作りたいと考えているのか。」

行政が担うべき役割と、その方針の考えを聞かせて下さい。

村山村長

我々が小さい時に受けてきた教育などを取り入れた学びを「積極的に現代の子供たちにも取り入れられるように支援していきたい」と考えています。

将来世界で活躍できるように学校・教育委員会と連携しながら進めていきたいと考えています。

他の学校との連携協定

木村議員「来年度の交流事業における計画を教えてください。」

三室教育長「ソラン学園は利島から1歩2歩先を行って教育を実践されている学校ですので、連携を強化させて頂ければと思っています。」

英語の学習や

ICTに関して

も、進んでいる

ので、利島の子

供たちに対して

ICTの使い方も

出前授業な形で

実施してもらえ

ば、交流も更に



いかと考えています。

子供たちだけではなくて、教職員同士の学び合いも深めて、地域全体へ広げていければいいかと考えています。

学校現場と充分に調整を行いながら、交流事の単なるイベントではなくて、子供たちの未来を育む継続的な取り組みとして位置づけて、学校や関係者と連携しながら進めていきたいと思っています。

島の活力

木村議員「人口減少が進む中で島の活力を維持するためには、経済面での成長が不可欠です。今後の利島の経済をどのように成長させていく考えか？そのための戦略やビジョンを伺います。」

村山村長「現状維持の可能性という面では、非常に厳しい局面を迎えていると認識しています。具体的なビジョンや計画は持ち合わせてはいませんが、従来の方法に囚われることなく、進めていきたいと考えています。」

サテライトオフィスの運用

木村議員「現在で決定している営業時間や利用料金など具体的な

的な運用内容、管理体制、運営管理費について聞かせて下さい。

隅総務課主幹「年末年始や施設の設備点検日を休館日として、それ以外の日に閉鎖しては、職員を配置しない日時もあります。朝6時から夜10時まで、無料で利用出来る事になっています。」

管理体制は地域協力隊や予約システムを導入することで、施設を利用出来るように考えています。運営管理費は600万円想定しています。全額一般財源からの負担となります。

サステナブル住宅と施設の維持管理費

木村議員の質問は、9月議会での石野議員の質問「あしたば20号」を参照下さい。||笹岡||

定住促進対策

木村議員「今後の課題について伺います。」

隅総務課主幹「今年度より「コミュニティポータルサイト」を開設して、地域起の協力隊が中心となって島内の情報発信を行っています。」

村民ライターも記事の執筆も進めていて、利島の未来を育て

るイベント等の検討も行っていると考えています。

防災対策

大磯議員「島民全員が協力し乗り越えられる体制の構築について、具体的な政策を伺います。」

村山村長「利島村の人口構成が移住者の割合が高くなっている中、都会的な雰囲気になりつつある中で、多世代間交流が不足していると云う状況下において「災害が発生した場合に於ける自助、公助の部分に大きな懸念がある」と考えています。」

大磯議員「島民全体の救助を促進する全村規模での避難訓練の必要性と全島民が島外避難する事態に於ける対応策について伺います。」

村山村長「全住民を対象とした訓練を定期的に実施することには有益と考えていますが、現時点では「具体的施策を示すことができない」と云うところです。」

島外避難する事態に於ける対応策についても同様です。

医療介護

大磯議員の医療に関する質問は、前後に分散していますが、ここで纏めて記述します。||笹岡||

医療介護の課題

大磯議員「医療介護の分野における現状を見て「仕方ない」とか「諦めざるを得ない状況」と言わざるを得ない課題をどのように認識していますか？」

村山村長「仕方ない。諦めざるを得ない状況」と云うところでは24時間若しくは、高度な医療サービスが諦めざるを得ない状況かなと捉えています。」

大磯議員「今後4年間で特に重点的に進めたい医療介護、福祉について聞かせて下さい。」

遠隔医療

大磯議員「オンライン診療やリハビリ相談などDX（デジタル技術とデータを活用し優位性の確立を目指す取り組み）の導入を検討していますか？」

長井住民課主幹「オンライン診療等は、現在でもレントゲンの画像診断など活用できるものに関してDXの活用を運用しているものもあります。」

DXの導入については、より効果的に使うために、専門的な機関と相談しながら進めていきたいと考えています。」

終末期医療

大磯議員「出来る限り「島で最後を迎えたい」と言う住民の声に対する現行での課題と体制を整える考えを伺います。」

村山村長「利島の中では正直申し上げて、大きく好転することとは厳しいと考えています。」

長井住民課主幹「現状では、24時間体制での対応が厳しい状況にあり、島内で対応するのは難しいところですが「島で最後まで暮らしたい」と言う強い思いのある住民に関しては、診療所、社協と連携して対応してきています。」

産産業の振興

大磯議員「現状と課題について認識を伺います。」

村山村長「課題は「産業を進める主役が行政」と云うような雰囲気になっていることが一番問題と捉えています。」

大磯議員「価値の向上や販路拡大に向けて行政と民間との連携体制をどのように構築していくか考えを聞かせて下さい。」
荻野産業観光課長「以前から東京宝島事業を活用して商品のフランディングなど農協が主体となつて取り組んできています。」

加工海産物の支援

大磯議員「水産加工物の販路拡大や海洋資源の活用について支援策を伺います。」

村山村長「行政としては、サポートする施設の一部が完成したと云う状況です。」

そんな中で、島のPRとして土産物とか新たな商品開発で島内外の流通が出来て活性化につながればと考えています。これも漁業者が主役であることに変わりはありません。」

生産者が主役になるには

大磯議員「島全体として「生産者が主役」となる、そう云う空気にするためには、どのような行動なりを考えていますか。」

村山村長「危機感と希望を持って、自分が色々やっていることを周囲の人に示すことが大事かと考えています。」

島で育つた子供たちが

大磯議員「将来利島に戻りたいと思えるために必要なことについて村長の所見を伺います。」
村山村長「利島に思いを続けて貰えることが重要だと考えています。」

います。そのためには、現役世代の大人が頑張っている姿、背中を子供たちに見せていくことが大事と考えています。」

島の活動を支えるには

大磯議員「運動会や文化祭、夏祭など島の活動を支えてきた多くの行事は、人手の確保や負担が避けがたく、大きな課題となつています。」

行政は、どのように関与し地域活動を支えていくのかについて質問します。」



村山村長「地域行事の継続、再開に関しては、この間、感染症とか人不足、或いは予算不足とかで、今の状況に至っていると捉えています。」
持続可能な島として、皆さんのお話を伺いながら適切に進めていければと考えています。」

伝統文化の継承

大磯議員「島で受け継がれている歌や方言などは今後の世代へ繋いでいく重要な資源ですが、その担手となる世代の高齢化が進んでいます。」

村長の所見を伺います。」

村山村長「方言も含めて文化伝統は尊いものと考えています。その一方で現在まで完全に受け継がれてこなかったところも現実としてある中で、必ずしも継承が必要かと云うところも評価して、教育委員会や関係者と協議をしながら慎重に判断していきたいと考えています。」

村長の伝統文化を尊いと認めつつ、継承は「慎重に評価して」と云う答弁の意味合いは、理解に戸惑います。

要は、「行政としては取り組まない」と云う事なんですか。

議員は、9月議会でも伝統文化の継承を訴えていました。

私は郷土の歴史や伝統文化を未来に継承するのは、現代に生きる人々の義務的な行為と考えています。その先頭に立つて取り組むのが、行政の政治的責任ではないでしょうか。

議員訴えのとおり、高齢化が進んでいて、知る人が少なくなつてきている現状を重視して取り組んで欲しいものです。『せめ』次の方言は幾つ解りますか。『ええ。あつたな。わいら。いだやい。ようで。あいべや。ちゅうばい。すま。せうせ。でいの。くち。つぽう。かみのき。いでんべい。つうじ。かみのき。』

新しい世代の活躍

大磯議員「島に馴染めるためのフォローについて伺います。」
隅総務課主幹「移住者のフォロー体制は、イベントとかサークル活動に参加して住民との関わりを広げていく中で、維持されていくものと考えています。」

防災の改定

石野議員の質問は、前段の大磯議員の質問を参照下さい。

『せめ』

椿実の前処理

石野議員「新製油工場の建設が進まないのであれば「生産者の作業負担の軽減ができる前処理工程だけでも現工場に設置できないか。農協が要望している」

と聞きました。

荻野産業観光課長 現工場の中に「前処理施設を新たに設置するのは難しい」と云う話を工場の従事者から聞いています。

農業委員会との連携

石野議員 産業進行に対し具体的な連携内容と役割分担を説明下さい。

村山村長 農業委員会の事務局職員として所管職員が運営のサポートする他、調査など多岐にわたって支援しています。

今年度は地域計画の策定をし、計画の促進に寄与しています。

石野議員 地域計画策定の具体的内容を示して下さい。

荻野産業観光課長 今後5年とか10年先の農業経営農地について、生産者が主体となって計画を作ります。

生活基盤整備

石野議員 最優先事業とする焼却場とか水道施設整備、住宅の修繕計画の内容について示して下さい。

村山村長 既存住宅の修繕は少しずつ進めています。

今後とも年数の古い住宅から順に大規模修繕を実施していきたいと考えています。

職員の職場環境

石野議員 充実のために内容を具体的に説明下さい。

村山村長 議員質問の「具体的には？」と云うところでは、DX環境の整備や研修、キャリア形成、人事評価など一般企業における働き方を提供できるように整備を進めていきたいと考えています。

校舎の建て替え

井口議員 教育長の考えを伺います。

三室教育長 校舎は最も古い部分で築50年を超えています。

今年3月に公立学校施設における建物の構造体力、機能の体力調査を実施しました。

調査した結果の評価は「軽年による老朽化の基準点を下回っている」と判定されました。

その結果、国補助の対象になることが確認されています。

校舎の立替え事業は財源がないと中々実現が難しい大きな案件です。事業の優先順位等の兼ね合いもありますので、慎重に検討していきたいと思っています。

モノラック修理

井口議員 施設の故障が頻繁になっていきます。

来年度はどのくらい予算計上するか伺います。

荻野産業観光課長 現在は、33路線あります。

来年度の修繕箇所やレール更新は今年度と同等程度と考えています。

議案

★議案番号と利島村は省略

《職員の給与に関する条例の一部を改正する条例》

榎本総務課長 宿日直手当、期末手当、勤勉手当の若干の引き上げと初任給の大幅な引き上げを行っています。若年層に重点を置きつつ、全ての職員を対象に俸給を引き上げています。

討論

石野議員 給料改定の議論をするにあたって、住民の皆さんの率直な感情について一言申し上げたいと思って登壇しました。

人事院の勧告を受けて、昇給と云うことですが、年金暮らしとか、勤めをしていない多くの住民の皆さんは「公務員には安定した立場の昇給がある」と自分たちとの格差に「どうしても



感情的な思いを持っている人たちが相当数いる」と云う認識を持って欲しいと云う事です。

7年3月の時に「地域手当と云う名目で16%もの大幅な増額なんて、この島ではありえない」と云ったような認識で受け止められていた事がありました。

多くの住民が、そう云った思いを抱えているんだ」と云う率直な感情を皆さんへお伝えして「理解を求めたいな」と云う思いで発言しました。

非課税世帯とか生活にお困りの世帯の...笑わないで下さい。方々にだけでも浄化槽とか水道料金とかの減免措置を取って欲しいと思いで一言討論に立ちました。原案には賛成します。

石野議員は質疑でしたが、討論で「質疑で述べたとおり」として、併せて記述します。《世帯》

榎本総務課長 水道料金及び浄化槽の使用量につきましては

対象の方については減免されています。経済的に困窮されている方に対しては、国の方で「給付措置がある」と伺っていますので、それに向けて村としても実施していく事になるかと思っています。

石野議員の云う首長等の「初年度一度に16%もの大幅な増額したのは、確かに異常と云えるかもしれませんが。他島では、年に4%づつ4年間に分けて挙げている島もあるように聞いています。

総務課長の云う国の施策云々は、議員質問の趣旨に噛み合っていないような気がします。《世帯》

《後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例》

長井住民課主幹 公示は役場の掲示板に告知するとなつていたのをホームページでも公開する改正となっています。

この改正により、住所が不明で保険料の納入通知書が送付出来ない人に対しても告知出来るようになります。

質疑 討論無し。《世帯》

《全議員賛成 可決成立》

補正予算、及び他の議案は割愛します。《世帯》

**6年度決算報告、並びに
監査意見書に対する
質疑・答弁の要旨**

大磯議員「水道事業職員の他は、サフロク協定は締結されているのか伺います。」

梅田代表監査委員「締結されているのは2箇所だけです。」

サフロク協定とは、労働基準法36条に定める法律の略称です。

労使間でこの協定を締結して労働基準監督署に届け出なければ、企業団体は従業員に法定労働時間を超える時間外や休日労働を命じる事はできません。

公立の義務教育諸学校等の教職員は「週48時間以上勤務する」ことを想定して、基本給の4%に相当する教職調整額を支給することを定めた、「公立の義務教育諸学校等の教職員の給与等に関する特別措置法(略称・給特法)により適用外となります。現実には、想定時間以上にならしているのが実状です。」「世間」

大磯議員「企画財政担当の職員が1人としている事の後に「等」と記載がありますが、他にも何か課題がありますか。」

梅田代表監査委員「等」とは、企画と財政係は特に「分離した方がよい」と言う事です。」

石野議員「サフロク協定について、協定書の提出を求めた時は無く、後から出てきたと云うのは、腑に落ちないので説明を求めます。」

梅田代表監査委員「8月7日に職員に聞いた時には「サフロク協定書はない」との話でした。それから、20日ぐらいして協定書が出てきたのが事実です。」

事情は分かりませんでした。「労働基準監督書に届け出を忘れていた」との話でした。」

榎本総務課長「サフロク協定については、以前の議会でも指摘が有って、職員代表とは締結していましたが、労働基準監督書に提出を忘れていました。」

この度、監査委員からの指摘を受けて、改めて内容の理解に努め、2度と無いように対応していきたいと思えます。」

石野議員「車両の管理の件で部署によって「使用頻度が少ない車両がある」と言う指摘について伺います。」

梅田代表監査委員「同じような組織の中で車両の頻度が多く使っている所と少ない所があります。この4月からは、車両の利用を記録する事になっているので、車両の使用頻度が分かるようになります。」

ようになります。その結果、使用頻度の少ない車両は減らすよう指摘しました。」

石野議員「車両の使用管理の記録は自治体の通常業務なのに、本村では今まで実施してこなかったと云う事ですか。」

榎本総務課長「これまで管理規定はありませんでした。」

監査の指摘を受けて管理規定を整えて運行記録の記載を実施しています。」

石野議員「監査委員から「建設に関する専門的知識者がいない」との話がありました。」

専門的知識者がいないことで、積算金額の適否が検証ができない可能性があります。」

他の自治体の実情を伺います。**梅田代表監査委員**「他の自治体の実情は分かりません。」

榎本総務課長「他の自治体については言及を避けます。本村の実情は、業務委託した設計金額に基づいて積算しているのが通常です。」

石野議員「椿害虫駆除薬剤散布業務委託の件で監査委員から指摘されている状況が発生した理由を伺います。」

荻野産業観光課長「薬剤散布作業で使うゴキクルとか合羽は消耗品というよりは、継続して使える物なので、毎年貸与として扱っています。」

石野議員「貸与と云う事は「毎年買っているのではなく、返却させて翌年も使っていた」と云うことですか。」

荻野産業観光課長「監査委員の指摘を受けて、今後は貸与ではなく対応を検討します。」

石野議員「職員住宅のネズミの駆除は改善されましたが、庁内のネズミについても職員でやることになっていきますか。」

榎本総務課長「その通りです。」

石野議員「株TOSHIMAのダンボール事業の委託について伺います。就航業務に補助金を出している給与関係を初め必要経費は賄われています。」

社員が船の欠航時などの勤務時間内に就航業務以外の仕事に従事した場合、別途手当を支給するの意見伺います。」

梅田代表監査委員「船の欠航時などの勤務時間内で段ボール処理等の仕事をするのは容認出来ませんが、それに別途手当を支給すると云うのは、特殊な仕事でもない限り、一般的にはなじまないと考えます。」

石野議員「株TOSHIMAの交通費の支給について、昨年の監査で「不適切ではないか」との指摘が指摘されています。」

その件について伺います。**梅田代表監査委員**「交通費は今年度から支給されていません。」

ラフタークレインもフォークリフトの手当も支給していない状況ですが、これについては議会でも議論してはと思います。」

石野議員「定期的な監査対象は、株TOSHIMAと農協とは同じ扱いと云う事でしようか。」

梅田代表監査委員「違います。株TOSHIMAは全てが対象となります。農協は製油工場の指定管理委託の範囲になります。」

高田議員「住民の声に「清掃が不十分な路線がある」と云う事について具体的に伺います。」

梅田代表監査委員「1つには、受けた人が「明日葉を残したい考えで切らないのではないか」と云う声があります。」

それも一理かと思えます。**加藤議長**「代表監査委員にはここで退席して頂きます。」

ご苦労様でした。**梅田代表監査委員**「監査報告に対して、議会で意見が出されたことは有難いと思えます。」

これを糧にして、村が良くなっていけばいいと思えます。**加藤議長**「引き続き執行部への質疑に移ります。」

高田議員「一般財源では、村税は非常に重要と考えています。令和6年度決算では、村税が7・2%・375万円減額となっています。この理由を伺います。」

榎本総務課長「ここに在る村

税は個人住民税の減額です。端的に云えば、多くの村民の収入が減ったことにより、住民の所得を上げていくのは、「一朝一夕に出来る事ではない」と思います。是非、議員の皆様も含めて、この村の発展のために力を頂ければと思います。回答にはなっていないかもしれませんが、一応そう云ったところです。

《討論》

石野議員「監査委員の意見に令和7年度に中止された事業について、もう及がったように、物価の上昇や離島が故の読みの難しさがあつたにせよ、行政の責任はあると思います。」

椿油工場の建設も何時になるのか？それも分かりません。議会では、それに言及すらもできない状況にあります。

全て村長の方針です。加えて、この年度に支出した関連予算が無駄になると云った事態もあります。

また、監査委員からは「内部統制が機能していない」という状況も指摘されています。ここには、「行政に在っては、猛省が必要なのではないか」と考えます。

以上の理由を以て「6年度決算の認定は承認し難い」と云うのが私の見解です。

《賛成4 反対1 認定承認》

質疑にある、「個人住民税額が375万円の減額」と云う事は最低税率の課税対象額では、3千7百50万円が減小した事になります。この金額は収入金額に、そのまま連動します。本村の納税義務者が概算で250人いるとします。内、給与所得者が100人居て、控除対象の配偶者や扶養者と他の非課税者を合わせて50人居たとします。この人々を合わせた150人は特段の事情がない限り所得の減収はありません。減収したのは、残る100人と云う事になります。各個人の収入実態は千差万別ですが、この100人の1人当たりの平均では、37万5千円の減収になります。ここには、生活環境が相当厳しくなっている実態がみられます。規則等で決めさえすれば、「収入が増える」とでも云うなら、一朝一夕にも可能でしょうが、この人たちは、そう云う訳には行きません。村は、この事実を厳粛に受け止めて、住民生活の安定に叶う施策を早急に講じて欲しいものです。＝**答**＝

議会を視聴して

6年度決算認定の件

議員の討論にある「この年度に支出した関連予算が無駄になる事態がある」と云う指摘は、軽視できない事案です。

ここに云う無駄とは、「支出した金額が予算が目的とした成果が無かった」事で、公金で俗に云う、「ムダ金」を払った」と云う事です。

議員には、予算科目の中の、どの支出項目で、いくら無駄になっていたのか？

その経緯と理由を明らかにして欲しかったです。

何故なら、予算執行の原点に関わる出来事だからです。

他に、監査委員の「内部統制が機能していない」と云う指摘は、村長の認識とは開きがあるように思います。

住民の中には、監査委員の指摘と同様の多くの声が聞かれています。それにしても、承認した他の議員からは誰一人として、これらに関する意見はありませんでした。

寿一

しんぶん赤旗
日曜版 電子版

豊富なコンテンツを
月990円でお届けします！

レシピやエンタメ、
お役立ち情報いろいろ！

日本共産党 www.jcp.or.jp

お申し込み

詳しい情報

特設webサイト

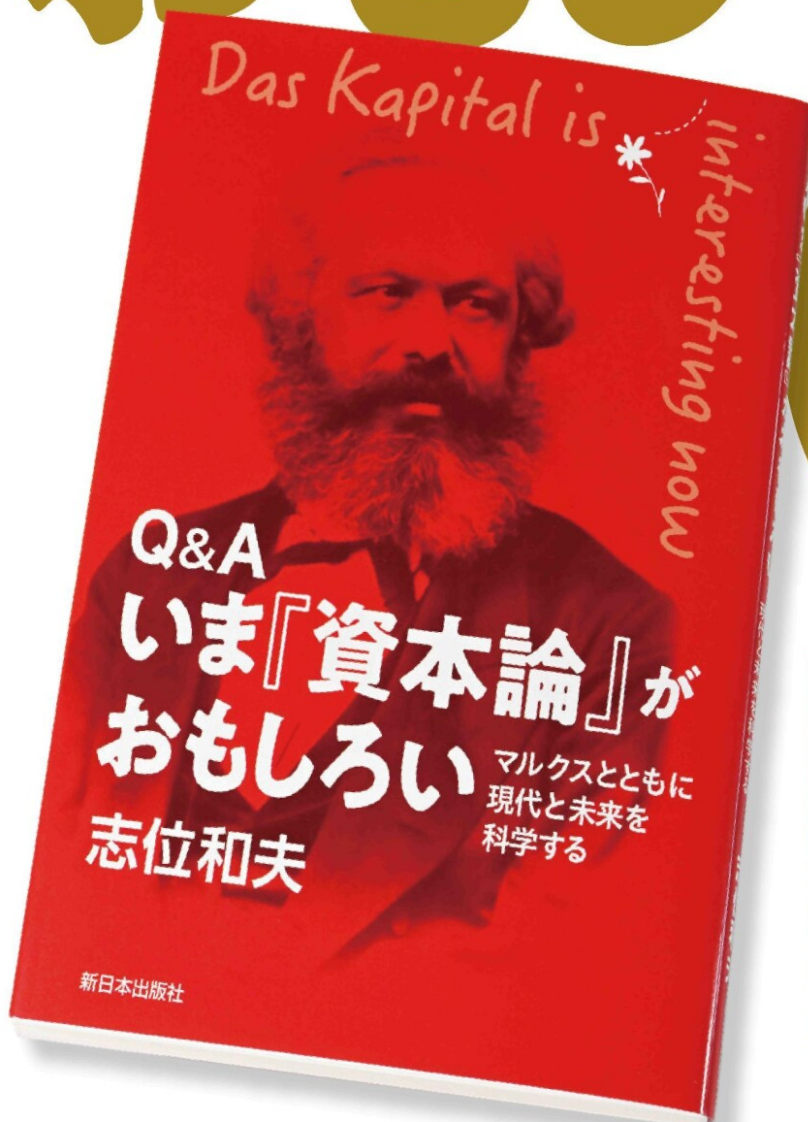


日本共産党

Q&A いま『資本論』が おもしろい

志位和夫

著

A5判／新日本出版社
定価：1,210円(税込)

2025年8月

出版 しました

購入はこちらから▶

出版記者会見する日本共産党の志位和夫議長
=7月30日、衆院第1議員会館

日本共産党

世界で広がる マルクスへの注目

アメリカでは半世紀ぶりに『資本論』の新しい英訳がだされ、第4次マルクス・ブームに。フランスでは労働組合で『資本論』を学習。日本でもマルクスと『資本論』に新しい注目が広がっています。

『資本論』第1部を、若者とのQ&Aでわかりやすく語られた最新刊を、あなたもぜひお読みください。